

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: R5年 3月 1日

事業所名 運動療育型児童デイ ぽぷらの樹 南住吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	物の配置など危険がないようにしている	規定に基づき行っている。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	役割を決めて行っている	規定に基づき行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	見て分かるようにしている。	規定に基づき行っており、現時点での改善の所はなし。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	清掃、消毒を行っている	ダニ、ハウスダスト等のアレルギー対策を検討していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	業務内容など共有するツールを作成。	朝礼、終礼を毎日行い、話す機会を作る。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	ミーティング等で情報共有している。	指摘された内容の改善を継続する
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	事業所内では貼りだしている。	今後、ホームページに掲載していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		結果を業務改善につなげる事を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	外部、内部への交流も含め行っている。	スタッフ全員に伝わるように研修す
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	様々なシールを使い共有している。	保護者様との面談を通して、情報収集している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	絵カード等を用いている	評価して的確なツールを使用する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	保護者様への面談内容を記録に残している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	毎日、遅く療育をしている	計画書に沿って支援していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	数回、ミーティングをして行っている。	満足度が高まるようにしていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	毎日、違うイベントを行っている。	同じイベントでも変化をつける。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	3	年齢等に合わせた支援方法でしている。	パートまで周知し、全員で取り組めていくようにしていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	8	0	毎日、ミーティングして確認している。	朝礼、終礼は時間を決め定着させている。
	18	8	0	記録に残している。	終礼で振り返りをしている。
	19	8	0	全スタッフが分担して記録している。	仕事のスキルアップをしていく。
	20	5	3	ミーティング等で情報共有している。	パートまでに伝達し周知していく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	8	0	ミーティング等で情報共有している。	決まったスタッフが参加しているので、今後適任者の参加調整も
	22	6	2		今後、連携もできるよう検討していく。
	23	5	3	受け入れ対応できるように準備している。	該当する児童がいれば保護者を通じて共有するよう検討していく。
	24	6	2	受け入れ対応できるように準備している。	重度の児童がいれば対応を検討する必要がある。
	25	6	2	担当者会議に参加したりしている。	定期的に情報交換を電話にて行っている。
	26	6	2	担当者会議に参加したりしている。	保護者様を通じて行っている。
	27	5	3	研修等への参加。	知識を増やす。
	28	8	0		今後、検討していく。
	29	6	2		今後、検討していく。
	30	8	0	日々、連絡帳などで共有している。	要望にお応えできるよう改善をしていく。
31	8	0	研修等への参加。	ロールプレイング等を設けて取り組んでいる。	
32	5	3		詳しい人が行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	3	定期的に行っている。	面談の際に保護者様へお伝えしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	送迎時に話をしている。	面談の際にアセスメントし情報共有している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	開催できるように準備をしている。	保護者様の希望があれば検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	いつでも相談できる態勢を作っている。	契約時にお伝えしています。対応についてはスタッフで共通理解を図りながら対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	行事がある時はチラシ配布をしている。	LINEを活用してお知らせもしていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	鍵付きロッカーに保管している。	写真の公表などには注意している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	ご希望の連絡対応を行っている。	分かりやすい説明や連絡手段を検討。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	緩和されたら検討していく。	地域行事に参加していたが、コロナで自粛中。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	すぐに見れる所へ保管している。	十分に周知しており書面などを用いている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	分かりやすく行っている。	年4回の訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	個人ファイルに特記事項として保管。	全スタッフに周知して対応できるように指導していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	アレルギー表を作成している。	保護者様を通じて対応。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	意識しながら支援していく。	日々、記載して共有。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	定期的に研修する。	研修し他のスタッフにも伝達。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	該当する方は現在いたない。	必要に応じて支援計画書に内容を提示し、保護者様の了承を頂く。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。